

令和3年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

事業実施主体	一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄
プロジェクト名	観光地にちょうどいい小型電動バスの開発～「豊かな沖縄」を目指して～
事業内容	沖縄県産の10人乗りの電動モビリティ（CV-10）を開発する。 自動車産業がない沖縄県で、デザインから設計・製作までをワンストップで開発を行い、沖縄県の観光業や離島地域に向けて展開する事で産業振興を図る。
今後の計画	2023年度：販売可能な価格帯にする為のコストダウン開発を実施中 2024年度：コストダウン開発（部品供給メーカーとの連携体制構築） 2025年度：適正価格による販売開始
最終目標と現状	最終目標) 令和10年度までに、CV-10の生産販売台数10台（売上金額3,500万円） 現状) コストダウン開発を継続中
補助事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 当法人の技術者が独立しイメイドを設立し設計・製造・販売を担っていき、当法人は型製作、部品加工等を担っていく予定。 海洋博記念公園で活用の検討の話もあるが、人数をもっと拡大した仕様への変更の必要性があり、デザインから検討を行っている。 車両系部品について、適正なコストの作り込みを行う必要があるが、部品メーカーとの交渉が始まっている。適正コストには車両バリエーションの拡大と共に部品の共通化による発注ロットの拡大が必要なので、検討を実施している。 本開発を元にして、車両のバリエーションの展開計画や、沖縄県内での車両製作事業における認知度の向上が確認できている。

写真・図



CV-10